

令和 6 年度対象
教育委員会の点検・評価

久万高原町教育委員会

目 次

■ はじめに	1
1 趣旨	1
2 点検評価の対象	1
3 点検評価の方法	2
4 点検評価結果の構成	2
■ 点検評価結果	3
自己評価要領	4
教育委員会の自己評価	5
重点施策 1 総合教育施策の展開	10
重点施策 2 小学校教育の推進	15
重点施策 3 中学校教育の推進	22
重点施策 4 幼児教育の推進	32
重点施策 5 学校保健の推進	35
重点施策 6 学校給食の充実	36
重点施策 7 社会教育活動の推進	39
重点施策 8 公民館活動の推進	49
重点施策 9 社会教育施設の管理・運営の充実	51
重点施策 10 図書館運営の充実	56
重点施策 11 文化財の保存と活用	62
重点施策 12 社会体育の推進	65
重点施策 13 社会体育施設の管理運営	66
■ 参考資料	73
令和6年度久万高原町教育の大綱	74

1 趣 旨

久万高原町教育委員会では、各地域の歴史と伝統により築かれた地域性を尊重しながら、久万高原町としての一体感のある「ひと・里・森がふれあいともに輝く元気なまち」をつくるため、「久万高原町教育の大綱」を定め、生き生きした町民の育成を目指しています。平成19年6月に地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、平成20年4月からすべての教育委員会は、毎年、学識経験者の知見を活用して、事務の管理、執行状況について点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに公表することとされました。

そこで、町教育委員会では、法の趣旨に則り、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、「教育委員会の点検・評価」を実施し、報告書にまとめました。

2 点検評価の対象

点検評価の対象は、本町が行政運営の改善手法として進め、行政評価システムの施策評価表に位置付けている個別事業・施策名とし、令和6年度については、次の重点施策13項目、63事業について評価を行いました。

[令和6年度教育重点施策]

重点施策	1	総合教育施策の展開
重点施策	2	小学校教育の推進
重点施策	3	中学校教育の推進
重点施策	4	幼児教育の推進
重点施策	5	学校保健の推進
重点施策	6	学校給食の充実
重点施策	7	社会教育活動の推進
重点施策	8	公民館活動の推進
重点施策	9	社会教育施設の管理・運営の充実
重点施策	10	図書館運営の充実
重点施策	11	文化財の保存と活用
重点施策	12	社会体育の推進
重点施策	13	社会体育施設の管理運営

3 点検評価の方法

- (1) 点検評価にあたっては、個別事業・施策毎の実施状況及び成果を明らかにするとともに自己評価を行いました。
- (2) 点検評価の客観性を確保するため、有識者の意見を聞き、教育委員会において検討・評価を行いました。

4 点検評価結果の構成

- (1) 施策・事業別評価表
 - ① 事業の実施状況
主な施策・事業を掲げています。
 - ② 事業の成果
主要項目の目標を掲げ、施策・事業の令和6年度の実施状況及び成果を記載し、自己評価をしています。
- (2) 教育委員会の自己評価
 - ① 検討
各事業の実施状況、成果について検討し、摘記しています。
 - ② 評価
重要度、達成度及び総合評価の二つの視点から評価を行っています。

点検・評価結果

久万高原町教育委員会の自己評価要領

久万高原町教育委員会

1 自己評価実施の趣旨

久万高原町教育委員会は、自らが実施する教育行政施策について、必要性、効率性などの視点からこれを評価し、政策効果を把握する。

これを公表して、住民に対する説明責任を果たすことは、公正公平で、住民の信託に答える教育行政を推進する上で極めて重要であることから、時期を定めて自己評価を実施する。

2 評価の対象

次の事項について自己評価をする。

[1] 項目

- (1) 総合的な教育施策の展開
- (2) 学校教育の充実
- (3) 社会教育の振興

[2] 重要施策 項目毎の重要施策

[3] 個別事業・施策名 重要施策に属する具体的事業等

3 評価の方法・手続き

[1] 検討 各事業の実施の状況、成果について検討し摘記する。

[2] 評価 二つの視点から評価をする。

(1) 重要度と達成度について3段階評価とする。

重要度Ⅲ・・評価の年度において、直ちに実施すべきものである。

重要度Ⅱ・・できるだけ早く実施すべきである。

重要度Ⅰ・・年度内に実施の必要がないので、関心を持っているだけでよい。

達成度3・・所期の目標を充分達成した。

達成度2・・目標達成は不十分であり、課題を残した。

達成度1・・目標達成はできていない。或いは事業実施の必要がない。

(2) 総合評価 5段階評価とする。

5 事業の運営管理ともに良好であり、極めて優れた成果を挙げた。

4 おおよそ優れた成果を挙げた。

3 一応の成果を挙げたが、更に努力が必要である。

2 殆ど成果がなかった。

1 まったく成果がなかった。又は実施しなかった。

4 評価の時期と結果の公表

評価の時期は年度の終了後早い時期とし、結果は、町長及び議会に報告するとともに、公表する。公表の手段については別に定める。

令和 6 年度 久万高原町教育委員会の自己評価

項目	重点施策	通し番号	個別事業・施策名	検討	評価		総合評価
					重要度	達成度	
総合的な教育施策の展開	総合教育施策の展開	1	教育委員会の運営	定例会（毎月）及び学校訪問（年1回実施）により、教育全般に係る検討等を行うなど計画のとおり取り組むことができた。また、先進地視察（新居浜市）を実施し、見聞を深めるとともに、教育委員の情報交換も実施した。	III	3	5
		2	教育委員会事務局一般事務	予算執行や委員会の開催など事務処理が適正に行われている。	III	3	3
		3	学校教育一般事務	業務委託による学校行事や教育機関の研修等、成果を挙げている。ICT支援員と学校現場で連携した取り組みができているが、学校間の取り組みの更なる連携が必要である。	III	3	5
		4	上浮穴高等学校振興対策事業	入学準備金や通学費補助（補助率70%に拡充）制度により、生徒数の確保を図っている。町営学生寮の運営や地域みらい留学（対面フェア（東京1回））への参加により、県外からの生徒数確保に繋がった。一方で町内の子どもの数が減少しており、今後も入学生の確保が大きな課題である。	III	3	4
		5	語学指導等を行う外国青年招致事業	遊びなどを取り入れた楽しい授業を通じて、小中学生の語学力の向上を図っている。また、県立上浮穴高校との連携により高校生への英語指導も実施している。	III	3	4
学校教育の充実	小学校教育の推進	6	小学校の管理・運営	学校からの要望等に基づき施設修繕等を行っているが、学校施設数も多く、多額の予算を要することから、計画的な改修や修繕により施設等の健全維持を図る必要がある。学校の在り方を含め、新たな計画策定が必要である。	III	3	3
		7	小学校学習活動支援	学習環境の維持・整備により、学習に支障をきたすことなく支援できている。ICT教育の推進及びICT教育業務支援の充実を図る必要がある。	III	3	4
		8	遠距離通学援助費補助	令和5年度に通学補助制度の拡充を行い、バス路線のない遠距離通学者への補助金の増額を実施した。通学援助を通じて、遠距離通学児童の安心・安全な登下校環境の確保と保護者の経済的負担軽減が図られている。	III	3	4
		9	学校生活支援事業	学校生活への適応が困難な児童の学校生活・学習支援のために生活支援員を配置しているが、支援員の確保に苦慮している。支援員のスキルアップ研修会を実施し、情報共有等を図ることができた。	III	3	4
		10	要保護・準要保護就学援助費補助	該当児童の保護者に対し適切な就学援助ができている。	III	3	5
		11	特別支援就学奨励費補助	該当児童の保護者に対し適切な就学援助ができている。	III	3	5
		12	巡回療育相談事業	発達専門支援員により、児童、保護者、教員に適切な指導ができている。	III	3	5

項目	重点施策	通し番号	個別事業・施策名	検討	評価		総合評価
					重要度	達成度	
学校教育の充実	中学校教育の推進	13	中学校の管理・運営	学校からの要望等に基づき修繕等を行っている。学校施設の計画的な改修や修繕により施設等の健全維持を図る必要がある。学校の在り方を含め、新たな計画策定が必要である。	III	3	3
		14	中学校学習活動支援	学習環境の維持・整備により、学習に支障をきたすことなく支援できている。ICT教育の推進及びICT教育業務支援の充実を図る必要がある。	III	3	4
		15	遠距離通学援助費補助	令和5年度に通学補助制度の拡充を行い、バス路線のない遠距離通学者への補助金の増額を実施した。通学援助を通じて、遠距離通学児童の安心・安全な登下校環境の確保と保護者の経済的負担軽減が図られている。	III	3	4
		16	要保護・準要保護就学援助費補助	該当生徒の保護者に対し適切な就学援助ができている。	III	3	5
		17	特別支援就学奨励費補助	該当生徒の保護者に対し適切な就学援助ができている。	III	3	5
		18	学校生活支援事業	学校生活への適応が困難な生徒の学校生活・学習支援のために生活支援員を配置しており、部活動の充実・成果に繋げることができた。支援員のスキルアップ研修会を実施し、情報共有等を図ることができた。	III	3	4
		19	巡回療育相談事業	発達支援専門員が各中学校を巡回し支援の必要な生徒や保護者の相談にのり、成果をあげている。	III	3	5
		20	スクールソーシャルワーカー活用事業	県の嘱託相談員が学校を訪問し相談のある生徒や保護者や教員にアドバイス等を行い、問題行動や不登校等の未然防止並びに早期発見・解決に資することができた。	III	3	4
		21	スクールサポートスタッフ配置事業	支援員の配置により教員の事務の負担軽減を図り、生徒への指導や教材研究等に注力できる体制が整備できた。	III	3	5
		22	寄宿舎運営事業	生徒が安心して生活できるように施設管理等を行った。今後は施設の老朽化により、計画的な改修等が必要である。入寮生徒数が減少傾向にあり、寮を活用した新たな取り組みの検討も必要である。	III	3	3
幼児教育の推進		23	幼稚園一般事務	学校の在り方の検討に加え、幼稚園の在り方についても併せて検討する必要がある。専門職である幼稚園教諭の計画的採用についても、幼稚園の在り方に関連して検討する必要がある。	III	3	4
		24	幼稚園の管理・運営	各園とも安全に園生活が送れている。小規模な幼稚園が多く、今後も交流保育等を積極的に実施していく。働き方改革などの影響から、共働きも多く、早朝預かりの検討も必要である。	III	3	3
		25	遠距離通園補助	令和5年度に通学補助制度の拡充を行い、遠距離から通園する対象者への補助金の増額を実施し、保護者の負担軽減が図られている。	III	3	5

項目	重点施策	通し番号	個別事業・施策名	検討	評価		総合評価
					重要度	達成度	
	学校保健の推進	26	学校保健一般事務	児童生徒の健康管理に関する業務であり、健康的な学校生活を支援するため継続して実施することが重要である。	III	3	5
学校教育の充実	学校給食の充実	27	学校給食センターの一般事務	学校給食運営委員会については、令和2年度から実施されていないため、今後の実施の在り方について検討する必要がある。	III	2	1
		28	久万学校給食センターの管理・運営	安心・安全な学校給食の提供がなされている。今後も、衛生面に留意し適正な管理・運営を図っていく。令和5年度からは上浮穴高等学校の生徒への給食提供（一部の生徒のみ）を行い、保護者からは好評を得ている。	III	3	4
		29	美川学校給食センターの管理・運営	安心・安全な学校給食の提供がなされている。今後も、衛生面に留意し適正な管理・運営を図っていく。施設老朽化に伴い、施設修繕、機器修繕を計画的に実施する必要がある。	III	3	4
		30	社会教育総務一般事務	人材不足等により正規職員の配置が減少傾向にあり、不足分を会計年度任用職員や業務委託員による補充としている。	III	3	3
社会教育の振興	社会教育活動の推進	31	生涯学習の促進	学校と地域の連携事業の取り組み、地域の方々と共に学習活動を進めることで学校を拠点とした地域コミュニティの促進を図ることが出来た。	III	3	5
		32	20歳を祝う会	年々、対象者数は減少しているが、町を離れている若者が集う集会として定着している。今後も、創意工夫を凝らし、充実したイベントとなるよう取り組む必要がある。	III	3	5
		33	青少年補導センター	令和6年度は「中予ブロック研修会」を本町で実施し、関係者の研修を深めることができた。学校・警察連絡協議会において情報交換や夜間の街頭補導活動にも取り組んでおり、大きな問題はない状況である。	III	3	4
		34	メディア教育	イベント等での機器貸し出しが主な業務となっており、自主企画などの取り組みの検討が必要である。	III	2	2
		35	社会教育支援事業	文化協会等の新たな会員の確保、組織体制の強化を図る必要がある。令和5年度から合同開催している「部門間の連会による合同開催（舞踊とカラオケ）」は令和6年度も継続して実施しており、盛況であった。継続的な取り組みを実施したい。	III	3	4
		36	高齢者学習事業（しゃくくなげ教室）	久万地区で取り組んでいた「高齢者学習事業」は、令和6年度で廃止することとなった。今後は老人クラブ連合会（保健福祉部局）との連携により、高齢者学習活動を行うこととする。	III	3	2
		37	学校支援地域本部推進事業	地域の教育力を最大限に生かし、特色と活力のある学校づくりができる。（父二峰小、面河小、美川小）また、面河地区ではコミュニティースクールの設立を行うことができた。	III	3	5

項目	重点施策	通し番号	個別事業・施策名	検討	評価		総合評価
					重要度	達成度	
社会教育の振興		38	学校・家庭・地域連携推進事業	放課後児童の健全育成に成果をあげている。ホームページやブログでの情報発信を検討していく。仕七川地区の放課後子ども教室も順調に行われており、拡充した取り組みができている。	III	3	5
		39	幸福学習会	令和5年度に休会となっていた幸福学習会（柳谷地区の高齢者教室）は、令和6年度で廃止となった。	III	2	1
	公民館活動の推進	40	公民館一般事務	館長・主事会を開催、また各種研修を行い、生涯学習活動の推進に努めた。	III	3	4
		41	分館管理・委託事業	分館施設の老朽化に伴い、計画的な改修を検討していく必要がある。また、分館の在り方についても早急に検討していく必要がある。	III	3	3
	社会教育施設の管理・運営の充実	42	久万町民館の管理・運営	久万地区の生涯学習等の中心的な役割を担っており、今後も町民の方々が安心して利用できるよう良好な運営に努めることとする。	III	3	3
		43	面河住民センターの管理・運営	面河地区の社会教育団体や地域住民に広く利用されている。老朽化に伴う計画的な修繕が必要である。	III	3	3
		44	美川農村環境改善センターの管理・運営	美川地区の社会教育団体や地域住民に広く利用されており、令和6年度は、雨漏り修繕工事を実施し、老朽化対策を行った。	III	3	3
		45	柳谷こかげの管理・運営	柳谷地区の社会教育団体や地域住民に広く利用されている。老朽化に伴う計画的な修繕が必要である。	III	3	3
		46	産業文化会館の管理・運営	計画的な施設、設備改修を行い、町内唯一の文化ホールとして適正な管理・運営を行っている。	III	3	4
	図書館運営の充実	47	図書館一般事務	業務全般にわたり適正な管理運営ができている。	III	3	4
		48	図書館の管理・運営	施設の適正な維持管理、住民ニーズにあった図書の充実により読書人口の拡大を図っていく。館内照明のLED化及び空調設備の改修が完了し、環境改善を図った。	III	3	4
		49	子どもの読書活動の推進	幼児期から、本に親しむきっかけをつくり、読書の習慣を付けていく。	III	3	3
		50	読書グループ等の育成	2グループが積極的に活動しており、さらなるサポートを行っていく。高齢化によるグループの存続が危惧される。	III	3	3
		51	移動図書館の充実	巡回場所を増やし、利用者の増加に努める必要がある。	III	3	3
		52	親子読書講座の開設	学校等と連携し親子で本に親しむ機会を設けている。今後はボランティアの研修を実施するなど、読書講座の充実を図る。	III	3	3

項目	重点施策	通し番号	個別事業・施策名	検討	評価		総合評価
					重要度	達成度	
社会教育の振興	文化財の保存と活用	53	文化財保護	文化財保護審議会の開催や機関誌「ふるさと久万」の発行（2年に1回）業務支援を行っている。対象施設等が多く、管理面で苦慮している。	III	3	4
		54	上黒岩遺跡考古館の管理・運営	適切な運営管理に努めている。上黒岩岩陰遺跡の保存、活用について抜本的な取り組みができていないため、更なる取り組みの再検討が必要である。	III	3	3
		55	文化財整備活用事業	今後は、国史跡への指定など計画的な事業展開が必要である。	III	3	3
社会教育の振興	社会体育の推進	56	保健体育総務一般事務	業務全般にわたり適正な事務処理ができている。コロナ禍以降、人口減少に伴うスポーツ離れも散見されることから、社会体育全般の在り方についても検討していく必要がある。	III	3	3
	社会体育施設の管理運営	57	ラグビー場管理事業	施設整備や合宿誘致による各種大会等を実施している。菅生ラグビー場については、人工芝張替えから10年近く経過していることから、消耗による人工芝の傷みが顕著となってきており、更新について検討していくこととしたい。	III	3	4
	社会体育施設の管理運営	58	海洋センターの管理・運営	スポーツ活動や文化活動が行える施設として、適正な管理運営を行っている。体育館の雨漏りが顕著になってきており、B&G財団の補助金制度を活用した改修工事の実施に向けて取り組んで行く。	III	3	4
		59	久万公園の管理・運営	施設点検を定期的に実施し、施設の適正な修繕を行っていく。競技人口の減少等が散見され、夜間利用は減少傾向にある。ナイター照明等については、ハロゲン球の生産停止によるLED化について、今後検討していく必要がある。	III	3	4
		60	屋内ゲートボール場の管理・運営	ゲートボール協会に大会の実施と施設の管理を依頼しており、適切な維持管理と運営がなされている。ゲートボール以外の新種目（モルック）の利用が増加しており、継続して支援していく必要がある。	III	3	3
		61	面河地区にある体育施設	施設の定期的な点検と支所職員との連携により適正な維持管理運営ができるが、競技人口の減少などもあり、使用頻度の低い施設が多くなっており、今後の検討が必要である。	III	3	3
		62	美川地区にある体育施設	施設の定期的な点検と支所職員との連携により適正な維持管理運営ができるが、競技人口の減少などもあり、使用頻度の低い施設が多くなっており、今後の検討が必要である。	III	3	3
		63	柳谷地区にある体育施設	施設の定期的な点検と支所職員との連携により適正な維持管理運営ができるが、競技人口の減少などもあり、使用頻度の低い施設が多くなっており、今後の検討が必要である。	III	3	3

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	総合的な教育施策の展開
重点施策	総合教育施策の展開

事業区分	個別事業・施策名	通し番号 1 教育委員会の運営	支出目		教育委員会費	
			予算執 行状況	予算額（円） 1,514,000	決算額（円） 1,342,610	不用額（円） 171,390
事業の実施状況		定例会（12回）及び臨時会（2回）を開催するとともに、教育委員が幼稚園、小・中学校を訪問し、教職員との意見交換や教育現場の現状把握に努め、指導助言を行った。 ※議案件数17件、教育長報告事項件数113件、協議事項件数48件 全国市町村教育長会並びに研究大会をはじめ、各種会議に参加し、教育行政の課題等に向けた認識を深めた。 ※費用 委員4人年報酬 833,000円 上部機関（県市町教育委員会連合会、町教育長会）負担金 52,000円 町外研修を実施し、他市町（新居浜市）との交流を深めるとともに、先進的取り組みなどの研修を行った。				
事業の成果	目標	教育委員会の活性化				
	成果	教育委員の学校訪問及び校長会との合同研修会を行い、学校運営方針や教育現場の意見・要望を把握し適切な指導 ができた。また、定例会において、いじめ問題や人口減少化の学校の在り方についても意見交換を行った。 総合教育会議において、教育及び学校の在り方等を協議し、教育大綱の見直しを行い、必要な改訂を行った。 町外研修により、他市町（新居浜市教育委員）との意見交換や現地研修を行い、研修を深めることができた。				
	自己評価	1	【課題・問題点】 急激な人口減少の中、学校の在り方及び公民館の在り方など重要な検討課題が山積しており、今後 どのような方針で教育行政を発展させるべきなのか中長期ビジョンの策定が不可欠である。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	総合的な教育施策の展開
重点施策	総合教育施策の展開

		通し番号 2	支出目		事務局費			
事業区分	個別事業・施策名	教育委員会事務局一般事務	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		62,051,000	59,606,586	2,444,414	0	
事業の実施状況		教育長他教育委員会事務局職員の給与、手当関係の事務 各種専門委員会開催に関する事務 事務局運営の諸般にわたる事務						
事業の成果	目標	教育委員会事務局の適正な事務処理						
	成果	適正な予算執行や事務処理により、教育委員会事務局の各種業務の運営を概ねスムーズに行うことができた。						
	自己評価	2	【課題・問題点】 適切な経費執行に努めるとともに、必要な専門委員会の速やかな実施に努める。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	総合的な教育施策の展開
重点施策	総合教育施策の展開

事業の実施状況	事業区分	通し番号 3	支出目		事務局費		
			予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
				21,312,000	20,386,439	925,561	
個別事業・施策名	学校教育一般事務						
事業の実施状況	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他						
事業の実施状況	教職員・児童生徒の研修に関する事業を実施 学校に委託する業務に関する事務 各補助金、負担金に関する事務 校務支援システム及び1人1台端末の管理に関する事務 次期GIGA端末導入に関する事務						
目標	学校に委託する業務が計画に基づき実施できるよう支援する。						
事業の成果	業務委託をしている学校行事（学校体育会・教育研究会・給食会・保健会）は年間活動計画に基づき実施することができた。 学校現場の校務支援及び、関係機器の維持管理が適正に実施できた。 次期GIGA端末（Chromebook）導入に関する情報収集、検討、仕様書の作成など令和7年度に向けての準備ができた。						
自己評価	1	【課題・問題点】 1人1台端末の使用に関して、学校間での使用頻度に差があるため、町ICT支援員と各学校の情報担当との連携を深め、更なる活用に向けて模索、研究し、成果の底上げを図っていく必要がある。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	総合的な教育施策の展開
重点施策	総合教育施策の展開

		通し番号 4			支出目	事務局費		
事業区分	個別事業・施策名	上浮穴高等学校振興対策事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
				57,975,000	49,028,104	8,946,896	0	
事業の実施状況		上浮穴高等学校振興対策協議会の活動に対する補助事業（協議会活動への補助及び上浮穴高等学校の存続・維持・振興を支援するための遠距離通学生への通学補助等及びふるさと奨学金の交付） 町営上浮穴高校学生寮（星天寮）の運営事業						
事業の成果	目標	入学生徒30名以上の確保（県立高校再編整備基準のクリア）、知名度・魅力度の向上						
	成果	各種補助制度及び学生寮整備により、再編整備基準を満たす生徒数を確保できた（R6年度新入生37名） 令和6年度から地域みらい留学事業（オンライン開催）へ寮母と町担当者も参加することにより、より詳しく寮生活の状況を伝えることができ、またオンラインでの問い合わせも増加し、生徒数の確保にも繋がっている。 (参加経費を協議会が補助)						
	自己評価	2	【課題・問題点】 町内中学生の上高への進学率が低下傾向であったが、回復に転じた状況である。中学校生徒数が年々減少することが想定され、生徒数確保に向けて更なる効果的な魅力発信が必要である。また、生徒数減少の問題については昨今の出生率の低迷や若者の流出の問題もあり、教育委員会だけでは解決が困難である。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	総合的な教育施策の展開
重点施策	総合教育施策の展開

		通し番号 5	支出目		外国青年招致事業費		
個別事業・施策名	事業区分	語学指導等を行う外国青年招致事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業の実施状況	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	外国語指導助手（ALT）を配置し、児童生徒の語学力の向上に努める。 外国人と接することにより、他国（異国文化）に興味を持たせ、国際化への対応や理解を深める。	9,582,000	9,475,419	106,581	0	
事業の実施状況		外国語指導助手（ALT）を配置し、児童生徒の語学力の向上に努める。 外国人と接することにより、他国（異国文化）に興味を持たせ、国際化への対応や理解を深める。					
事業の成果	目標	楽しく分かり易い外国語の授業実施と文化交流の促進					
	成果	遊びなどを通した楽しい授業になっており、小・中学生の語学力の向上に繋がっている。 学校行事や地域行事にも参加し、児童生徒及び住民とのコミュニケーションを図った。 幼稚園、子ども園に出向いて興味を持たせ、上浮穴高校でも指導し語学力の向上を図った。 各学校の行事に参加するなど概ね順調である。					
	自己評価	2	【課題・問題点】 英語教育の必修化に伴い、各学校の担当教師とALTとの連携を図る必要がある。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	小学校教育の推進

		通し番号 6	支出目		学校管理費		
個別事業・施策名	事業区分	小学校の管理・運営	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
個別事業・施策名	事業区分	小学校の管理・運営	予算執行状況	96,946,000	85,337,294	11,608,706	0
事業の実施状況	<p>施設・設備の経年劣化箇所等の改修や修繕については、コスト削減を図りながら計画的に行った。また、突発的な修繕にも対応し、安心安全な学校運営ができるよう配慮した。</p> <p>備品については、教育活動に必要な最低限の備品を整備した。</p> <p>学習用ネットワーク及び1人1台端末の通信環境の維持管理を実施した。</p>						
事業の成果	目標	小学校の適正な管理・運営					
	成果	<p>施設の状態を把握し計画的な改修・修繕を行うことにより、施設の適正管理及び安全性の確保を図った。</p> <p>＜主な修繕＞久万小体育館外壁等修繕・久万小北校舎3階廊下床改修・面河小プール設備機器取替</p>					
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>今後も各学校施設・設備の適切な状況把握と適切な管理を行い、破損・故障等の未然防止や修繕を計画的に行っていく必要がある。また、学校の在り方の検討状況を見据えて、中長期の施設管理、運営について改めて計画作成することが必要である。</p>				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	小学校教育の推進

		通し番号 7	支出目		教育振興費	
個別事業・施策名	小学校学習活動支援	予算執	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	行状況	52,618,000	46,575,203	6,042,797	0
事業の実施状況	町内小学校の学習活動に関する支援を行った。 (教材用消耗品・教材備品等の購入、教育用コンピュータ等リース料、教育用ソフトウェア等の利用料、 代替バス業務委託) 教育用連絡ツールの導入に向けた検討を行った。					
事業の成果	目標	町内小学校の教職員と児童が満足する教育的支援				
	成果	町内小学校の児童及び教職員が、支障をきたすことなく学校活動に取り組めるよう支援に努めることができた。 各校の連絡ツールについて把握、検討を行い教育委員会を含めた連絡手段の統一化を図るための準備を行った。				
	自己評価	2	【課題・問題点】 I C T 教育の推進及び I C T 教育業務支援の充実を図る。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	小学校教育の推進

事業の実施状況	通し番号 8	支出目		教育振興費		
	個別事業・施策名	遠距離通学援助費補助	予算執 行状況	予算額（円） 895,000	決算額（円） 772,760	不用額（円） 122,240
事業区分						町予算事業 <国支出委任事業>・ゼロ予算事業・その他
事業の成果	目標	町内小学校の児童が平等に学習活動が行えるように支援する。				
	成果	久万高原町遠距離通学援助費補助金交付要綱に基づき、町内小学校における遠距離通学児童（3km以上）の内、バスを利用している児童にバス通学費等を補助し、遠距離通学児童の安心・安全な登下校環境の確保と保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 補助対象校 5校 補助対象人数 19名				
	自己評価	1	【課題・問題点】 町内転居や移住者の方が対象となった場合にも安心して、安全な登下校環境の確保と保護者の経済的負担の軽減を図るために今後もバス便の確保が必要。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	小学校教育の推進

		通し番号 9	支出目		教育振興費			
事業区分	個別事業・施策名	学校生活支援事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		19,692,000	18,565,808	1,126,192	0	
事業の実施状況		町内小学校において、障がい等を有し学校生活への適応が困難な児童の学校生活・学習支援のために生活支援員を配置する。 計8名（久万小学校に5名、畠野川小・父二峰小・仕七川小に各1名）						
事業の成果	目標	困難を抱える児童への確実な支援						
	成果	児童への学習面・生活面において、生活支援員が適切に支援を行った結果、児童が安心して学校生活を送ることができた。 また、学級担任との連携を図ることで、担任の学級運営をサポートすることができた。 今年度も引き続き支援員のスキルアップ向上の研修会を実施するとともに、支援員同士で情報共有を行うことができた。						
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>生活支援員を必要とする学校への適切な配置</p> <p>生活支援員に必要な知識・技能に関する研修の実施</p>					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	小学校教育の推進

		通し番号 10	支出目		教育振興費			
事業区分	個別事業・施策名	要保護・準要保護就学援助費補助	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		3,710,000	3,561,568	148,432	0	
事業の実施状況		経済的理由により就学が困難と認められる児童の保護者に対して、「町要保護及び準要保護児童生徒援助費並びに特別支援学級就学奨励費支給要綱」に基づき、該当児童の保護者に対して適正に援助費を支給する。 (通学費、学校給食費、学用品費)						
事業の成果	目標	平等に教育を受ける機会を与える						
	成果	認定根拠をもとに認定処理を行い、保護者へ遅延なく支給し経済的負担を軽減することができた。 家庭環境の変化に伴い支給対象となった家庭にも学校と情報共有を行い、年度途中に認定し支給することができた。 当初認定児童 44名 途中認定児童 6名 R6年度認定児童 50名						
	自己評価	1	【課題・問題点】 援助費についての周知を引き続き行い、対象となる家庭には随時案内し、保護者の経済的負担軽減に努める。 支給が遅延することのないよう事務処理を確実に行う。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	小学校教育の推進

		通し番号 11	支出目		教育振興費	
事業区分	個別事業・施策名	特別支援就学奨励費補助	予算執	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）
			行状況	467,000	342,064	124,936
事業の実施状況		特別支援学級に在籍している児童の保護者に対して、「町要保護及び準要保護児童生徒援助費並びに特別支援学級就学奨励費支給要綱」に基づき、適正に奨励費を支給する。 (通学費、学校給食費、学用品費)				
事業の成果	目標	特別支援教育の振興に資する				
	成果	特別支援学級在籍の児童の保護者の負担を軽減するため、経済的支援を行った。 今年度、新入生4名を認定し新入学用品の補助を行い、経済的な負担を軽減することができた。 特別支援学級在籍児童 18名 認定児童 12名				
	自己評価	1	【課題・問題点】 申請手続きが負担となるご家庭があるため、学校と連携して分かりやすい書面にするなど工夫して申請を促していく。 保護者の負担を軽減するため、引き続き支援を行う。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	小学校教育の推進

		通し番号 12	支出目		教育振興費		
個別事業・施策名	巡回療育相談事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		5,833,000	5,793,110	39,890	0	
事業の実施状況	発達支援専門員等が幼稚園、小学校を巡回し、継続して観察・指導の必要な障がいのある児童の個別相談及び教員へのアドバイスを行う。また、保護者との教育相談にも対応する。 発達検査実施・・・幼稚園、小学校 44回 作業療法士学校巡回・・・11月、2月						
事業の成果	<p>目標 幼・小への定期的な巡回、保護者との定期的な教育相談の実施</p> <p>成果 発達支援に関する専門員が、該当児童や教員、保護者への適切な関わりやアドバイスを行うことにより、該当児童が安心で豊かな学校生活を送るうえで必要な、教員・保護者に求められる知識や関わり方を学ぶことができている。 教育相談の実施により、新入生がスムーズに特別支援学級へ入級する手続きができ、通級指導教室への途中入級も巡回相談員のアドバイスにより進めることができた。引き続き定期的に学校巡回し、適切な支援や指導を行う。</p>						
	自己評価	1	<p>【課題・問題点】</p> <p>特別支援学級新担任者が多いため、専門的な知識を有する巡回相談員を活用し教員の指導やスキルアップに努めていく。</p>				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 13	支出目		学校管理費			
事業区分	個別事業・施策名	中学校の管理・運営	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		26,925,000	22,680,059	4,244,941	0	
事業の実施状況		<p>施設・設備の経年劣化箇所等の改修や修繕については、コスト削減を図りながら計画的に行った。また、突発的な修繕にも対応し、安心・安全な学校運営ができるよう配慮した。</p> <p>備品については、教育活動に必要な最低限の備品を整備した。</p> <p>学習用ネットワーク及び1人1台端末の通信環境の維持管理を実施した。</p>						
事業の成果	目標	中学校の適正な管理・運営						
	成果	<p>施設の状態を把握し計画的な改修・修繕を行うことにより、施設の適正管理及び安全性の確保を図った。</p> <p>＜主な修繕＞久万中学校校長室・職員室照明器具修繕、美川中学校くすのき教室エアコン修繕</p> <p>＜主な改良＞久万中学校普通教室照明LED化</p>						
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>今後も各学校施設・設備の状況把握と適切な管理を行い、破損・故障等の未然防止や修繕を計画的に行っていく必要がある。また、学校の在り方の検討状況を見据えて、中長期の施設管理、運営について改めて計画作成することが必要である。</p>					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 14	支出目		教育振興費	
個別事業・施策名	中学校学習活動支援	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		27,504,000	21,630,607	5,873,393	0
事業の実施状況	<p>町内中学校の学習活動に関する支援を行った。</p> <p>(教材用消耗品・教材備品等の購入、教育用コンピュータ等リース料、教育用ソフトウェア等の利用料、 通学バス・タクシーの使用料及び賃借料、職場体験・英語検定料等の各種補助)</p> <p>教育用連絡ツールの導入に向けた検討を行った。</p>					
事業の成果	目標	町内中学校の教員と生徒が満足する教育的支援				
	成果	<p>町内中学校の生徒及び教員が、支障をきたすことなく学校活動に取り組めるよう支援に努めることができた。</p> <p>各校の連絡ツールについて把握、検討を行い教育委員会を含めた連絡手段の統一化を図るための準備を行った。</p>				
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>今後も I C T 教育の推進及び I C T 教育業務支援の充実を図る必要がある。</p>			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が 3 及び 4 の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 15	支出目		教育振興費			
事業区分	個別事業・施策名	遠距離通学援助費補助	予算執 行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		6,700,000	4,474,160	2,225,840	0	
事業の実施状況		久万高原町遠距離通学援助費補助金交付要綱に基づき、町内中学校における遠距離通学生徒（4km以上）のバス通学費及び自転車購入補助をする。						
事業の成果	目標	バス通学生徒に定期代等を補助することにより、遠距離通学生徒を持つ保護者の経済的負担の軽減を図る						
	成果	久万高原町遠距離通学援助費補助金交付要綱に基づいて、町内中学校における遠距離（4km以上）の、生徒にバス通学費及び自転車購入費を補助し、遠距離通学生徒の安心・安全な登下校環境の確保と保護者の経済的負担の軽減を図ることができた。 補助対象校 2校 補助対象人数 26名						
	自己評価	1	【課題・問題点】 町内転居や移住者の方が対象となった場合にも安心して、安全な登下校環境の確保と保護者の経済的負担の軽減を図るために今後もバス便の確保が必要である。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 16			支出目	教育振興費		
事業区分	個別事業・施策名	要保護・準要保護就学援助費補助	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
	町予算事業 国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他			2,023,000	1,900,844	122,156	0	
事業の実施状況		経済的理由により就学が困難と認められる生徒の保護者に対して、「町要保護及び準要保護児童生徒援助費並びに特別支援学級就学奨励費支給要綱」に基づき、適正に援助費を支給する。 (通学費、学校給食費、学用品費)						
事業の成果	目標	平等に教育を受ける機会を与える						
	成果	認定根拠をもとに認定処理を行い、保護者へ遅延なく支給し経済的負担を軽減することができた。 家庭環境の変化に伴い支給対象となった家庭にも学校と情報共有を行い、年度途中に認定し支給することができた。 当初認定生徒 16名 途中認定生徒 3名 R6年度認定生徒 19名						
	自己評価	1	【課題・問題点】 援助費についての周知を引き続き行い、対象となる家庭には隨時案内し、保護者の経済的負担軽減に努める。 支給が遅延することのないよう事務処理を確実に行う。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 17	支出目		教育振興費		
個別事業・施策名	特別支援就学奨励費補助	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	（町予算事業）国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		147,000	120,813	26,187	0	
事業の実施状況		特別支援学級に在籍している生徒の保護者に対して、「町要保護及び準要保護児童生徒援助費並びに特別支援学級就学奨励費支給要綱」に基づき、適正に奨励費を支給する。 (通学費、学校給食費、学用品費、宿泊を伴う校外活動費)					
事業の成果	目標	特別支援教育の振興に資する					
	成果	特別支援学級在籍の生徒の保護者の負担を軽減するため、経済的支援を行った。 今年度、3年生2名を認定し修学旅行の経費等にかかる経済的な負担を軽減することができた。 特別支援学級在籍生徒 7名 認定生徒 2名					
	自己評価	1	【課題・問題点】 申請手続きが負担となるご家庭があるため、学校と連携して分かりやすい書面にするなど工夫して申請を促していく。 保護者の負担を軽減するため、引き続き支援を行う。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 18	支出目		教育振興費			
事業区分	個別事業・施策名	学校生活支援事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		○予算事業 国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		7,338,000	6,513,353	824,647	0	
事業の実施状況		町内中学校において、障がい等を有し学校生活への適応が困難な生徒の学校生活・学習支援のために生活支援員を配置する。 計4名（久万中学校に3名、美川中学校に1名）						
事業の成果	目標	困難を抱える生徒への確実な支援						
	成果	生徒への学習面・生活面において、生活支援員が適切に支援を行った結果、生徒が安心して学校生活を送ることができた。 また、学級担任との連携を図ることで、担任の学級運営をサポートすることができた。 今年度も引き続き支援員のスキルアップ向上の研修会を実施するとともに、支援員同士で情報共有を行うことができた。						
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>生活支援員を必要とする学校への適切な配置</p> <p>生活支援員に必要な知識・技能に関する研修の実施</p>					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 19	支出目		教育振興費		
個別事業・施策名	巡回療育相談事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	○予算事業 国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		1,906,000	1,884,910	21,090	0	
事業の実施状況	発達支援専門員等が中学校を巡回し、継続して観察・指導の必要な障がいのある生徒の個別相談及び教員へのアドバイスを行う。また、保護者との教育相談にも対応する。						
事業の成果	目標	中学校への定期的な巡回、保護者との定期的な教育相談の実施					
	成果	発達支援に関する専門員が、該当生徒や教員、保護者への適切な関わりやアドバイスを行うことにより、該当生徒が安心で豊かな学校生活を送るうえで必要な、教員・保護者に求められる知識や関わり方を学ぶことができている。定期的に検査を実施することで学びの場の再確認を行い、進級や進学に向けての支援を学校や保護者と相談することができた。					
	自己評価	1	【課題・問題点】 将来、就労することを見据えながら、個々に必要である支援を学校と連携して行えるようにする。卒業後の就学先や就職先への引継ぎがスムーズに行えるように支援計画等の作成の指導を行っていく必要がある。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 20			支出目		教育振興費			
事業区分	個別事業・施策名	スクールソーシャルワーカー活用事業 町予算事業 ・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）			
				1,341,000	1,253,451	87,549	0			
事業の実施状況		相談員が主に中学校を訪問し、相談のある生徒や保護者・教員へのアドバイス等を行う。 必要に応じて、関係福祉機関等とのネットワークを活用して支援を行う。 久万中学校を拠点校として2名配置。町内の小中学校へ派遣する。								
事業の成果	目標	生徒・保護者・教員等に対し相談活動を行い、問題行動、不登校等の未然防止並びに早期発見・解決に資する								
	成果	児童生徒や教員、保護者に対して個に応じた相談活動を行うとともに、児童生徒・保護者との人間関係づくりを進め、各機関や地域との連携を図ることにより、問題行動や不登校等の未然防止並びに早期発見・解決に資することができた。 年間勤務日数 92日（1日：4時間）								
	自己評価	2	【課題・問題点】 多様化する相談内容に対応できるよう、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを設置し対応する。拠点校中心の支援が多くなるため、派遣先の検討及び他の相談員（巡回相談員、保健師）との連携を密にしていく必要がある。							

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

事業の実施状況	通し番号 21		予算執 行状況	支出目		教育振興費	
	個別事業・施策名	事業区分		予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
	スクールサポートスタッフ配置事業	町予算事業・ 國支出委任事業 ・ゼロ予算事業・その他		1,021,000	912,950	108,050	0
		教員の働き方改革（教員の長時間労働を改善するための負担軽減）の一環として創設された事業であり、教員が行う校務負担の軽減を図り、生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するため、事務作業を代行する人材として、スクールサポートスタッフを配置する。					
30	目標	教員の長時間労働の改善及び校務等の負担軽減					
	成果	平成30年6月から、久万中学校にスクールサポートスタッフとして支援員1名を配置している。 久万中学校教員の長時間労働の縮減を図ることができ、生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備できた。					
	自己評価	1	【課題・問題点】 教員の生徒への迅速な対応が可能となるなど、教員の働き方改革を推進する上で、今後も必要な事業である。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	中学校教育の推進

		通し番号 22	支出目		寄宿舎費			
事業区分	個別事業・施策名	寄宿舎運営事務	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
	町予算事業<国支出委任事業> ゼロ予算事業・その他			8,435,000	6,225,106	2,209,894	0	
事業の実施状況		美川中学校に通学する生徒のうち、学校までの距離が遠距離（5km以上）の生徒やバス便等がない生徒のために寄宿舎（若竹寮）を設置・運営する。 ※令和6年5月1日（基準日） 10名						
事業の成果	目標	寮施設の適正な管理運営						
	成果	寄宿舎を活用いただくことで、遠距離通学に係る費用負担の軽減を図ることができた。 適切な寮運営に努め、保護者及び生徒の安心・安全を確保できた。						
	自己評価	2	【課題・問題点】 施設が老朽化しており、計画的な改修等が必要である。 生徒の家庭環境や生徒数の変化もあり、それに伴う今後の方針等を検討する必要がある。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	幼児教育の推進

		通し番号 23	支出目		幼稚園費		
事業区分	個別事業・施策名	幼稚園一般事務	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		107,603,000	105,472,692	2,130,308	0
事業の実施状況	教職員の給与関係 8園 19人分の給料等 4園 講師4人及び支援員1人の賃金						
事業の成果	目標	幼稚園全体の運営に係る職員の適正配置					
	成果	適正な予算執行と事務処理ができた。 幼稚園教諭は、時差出勤を活用し、預かり保育への対応などスムーズな園運営ができた。 園内外の研修等によりきめ細やかな幼児教育活動を取り組むことができた。					
	自己評価	2	【課題・問題点】 小規模園が増え、今年度は1園休園となった。今後も休園が生じる恐れがある。 預かり保育の拡充を課題とするため、教諭の働き方を考慮し検討するとともに今後も教諭や講師の配置及び将来的な雇用の実施についても検討が必要である。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実					
重点施策	幼児教育の推進					
個別事業・施策名	通し番号 24	幼稚園の管理・運営			支出目	幼稚園費
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	予算執 行状況	予算額（円） 44,239,000	決算額（円） 38,784,492	不用額（円） 5,454,508	繰越額（円） 0
事業の実施状況	<p>町内8園の幼稚園児が平等に園生活が送れるように支援する。</p> <p>預かり保育の実施</p> <p>満3歳児保育の実施</p> <p>修繕にも対応し、安心安全な園運営ができるよう配慮した。</p>					
事業の成果	目標	町内8園の幼稚園児が平等に園生活が送れるよう支援する				
	成果	<p>各幼稚園とも限られた予算の中で適正な園運営に努め、各幼稚園児が平等に生活活動等が行えるように支援できた。</p> <p>少しずつ園同士の交流保育や小学校との交流、地域との交流する機会が増え、コロナ禍前に戻りつつある。</p> <p>全園で預かり保育（令和2年度開始）実施。預かり保育支援員と業務委託契約を締結。最低賃金改正により1時間あたりの委託料の改正を行った。</p> <p>満3歳児保育（令和2年9月開始）を全園実施。地域によっては、満3歳児入園児が増えている。</p> <p>町内幼稚園の交流保育の機会を増やし、複数園児での保育を確保し、充実した交流保育を行うことができた。</p> <p>柳谷幼稚園は、小学校の再開により、小学校や地域との交流する機会が増えた。</p>				
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>未就園児や地域との交流を増やしていく。</p> <p>町内幼稚園の交流保育を計画的に実施できるよう、送迎の計画を立て確保する。</p> <p>預かり保育拡充による教師の働き方の検討や保護者要望による早朝受け入れの体制を検討する。</p>			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	幼児教育の推進

事業の実施状況	通し番号 25	支出目		幼稚園費			
	個別事業・施策名	遠距離通園補助	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業 国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他			431,000	329,000	102,000	0
事業の実施状況	久万高原町遠距離通学援助費補助金交付要綱に基づき、町内幼稚園における遠距離通園児を対象にバス通学費を補助する。 遠距離通学の補助適用距離、補助金額の改定があり、距離に合わせた支払いが行われるようになったため、さらに経済的負担の軽減につながった。						
事業の成果	目標	遠距離通園の負担軽減を図る					
	成果	該当園児の保護者には通園バス定期代等の補助を実施し、保護者の経済的負担の軽減が図られている。 対象園 3園 対象園児 6名					
	自己評価	1	【課題・問題点】 今後も持続が必要となる補助事業である。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	学校保健の推進

事業区分	事業の実施状況	通し番号 26		支出目		保健体育総務費	
		個別事業・施策名	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
		学校保健一般事務		7,447,000	6,914,070	532,930	0
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他					
35	目標	全教職員、園児児童生徒の健康診断の実施・全園児、児童生徒の共済保険への加入促進					
	成果	全園児・児童・生徒・教員の健康管理に努め、健康的な学校生活を送る支援ができた。 保護者同意により共済保険に加入し少額の掛金で医療保障が受けられるため、保護者の負担軽減に繋がっている。 今年度、教職員のストレスチェックを実施し、自らのストレスの状況について気付きを促し、個人のメンタルヘルス不調のリスクを低減させる取り組みを行った。					
	自己評価	1	【課題・問題点】 欠席等で受診できない児童生徒には他校受診を促し、もれなく受診できるようにする。 教職員健診についても健診日に受診できない場合は、個別受診を案内し定期的な受診を促す。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	学校給食の充実

		通し番号 27	支出目		学校給食費		
事業区分	個別事業・施策名	学校給食センターの一般事務	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		25,000	16,500	8,500	0
事業の実施状況		学校給食運営委員会(未開催) 愛媛県学校給食栄養士協議会負担金					
事業の成果	目標	安全で安心な給食を園児、児童、生徒に提供するための体制整備。					
	成果	予算執行や適正な事務処理ができた。					
	自己評価	3	【課題・問題点】 学校給食運営委員会を年間1回開催し、保護者、調理現場職員、学校栄養教諭、教育委員会との意見交換を実施する必要がある。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	学校給食の充実

		通し番号 28	支出目		学校給食費		
個別事業・施策名	久万学校給食センターの管理・運営	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		90,232,000	88,218,380	2,013,620	0	
事業の実施状況		久万学校給食センター臨時職員（調理員10人、事務員1人）の人物費 久万学校給食センター施設の維持管理 久万地区の幼稚園4園、小学校5校、中学校1校、上浮穴高等学校希望者、星天寮生に給食約470食を提供。					
事業の成果	目標	安全で安心な学校給食の提供					
	成果	衛生管理や食の安全に注意し、適正な運営を行うことができた。 職員の体調管理に努め、スムーズな給食提供を行うことができた。 衛生管理面では、専門業者によって毎月1回害虫駆除を行い、また夏季休業中に普段手の届かない調理場内の高所清掃も実施した。					
	自己評価	2	【課題・問題点】 調理場・洗浄室に設置されている機械が何度か故障し修理を行った。長年使っている機械があるので、今後業務に支障が生じないよう買い替えを検討・計画していく必要がある。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	学校教育の充実
重点施策	学校給食の充実

		通し番号 29	支出目		学校給食費	
事業区分	個別事業・施策名	美川学校給食センターの管理・運営 町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	予算執	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）
			行状況	40,369,000	39,957,752	411,248
事業の実施状況		給食（調理・運搬）業務を（株）みかわに委託。 小学校4校、中学校1校、幼稚園4園に1日約110食前後の給食を提供。 美川中学校寄宿舎（若竹寮）寮生及び舎監教諭への食事の提供。 ・				
事業の成果	目標	安全で安心な学校給食の提供				
	成果	衛生管理面では、専門業者による毎月1回害虫駆除を行い、また夏季休業中に高所清掃も実施。 定期的に施設の衛生検査を実施。食中毒、異物の混入など大きな問題もなく、スムーズな給食提供を行うことができた。 業務委託先である（株）みかわと現場・事務とも連携し安定した給食提供を行うことができた。				
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>施設自体の老朽化が進んでおり設備にも支障が出ているが保守点検修理に務め給食の安定提供を実施。（本年度は給湯配管の修繕、及び、ボイラーオイルタンクの修理を実施。） 今後も施設・設備・車両等の不具合（故障等）で給食提供が不可能な事態にならぬよう安全で計画的な運用を実施していく。</p>			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 30	支出目		社会教育総務費																						
個別事業・施策名	社会教育総務一般事務	予算執 行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）																					
事業区分	町予算事業 国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		62,517,000	61,847,149	669,851	0																					
事業の実施状況	社会教育事務費等の適正な執行 一般職員 9 名の人物費																										
事業の成果	<table border="1"> <tr> <td>目標</td> <td colspan="6">社会教育事務の適正執行</td> </tr> <tr> <td>成果</td> <td colspan="6">社会教育業務に要する一般職員当初予定 11 名の内、9 名の人物費が執行された。 一般職員が不足するところには、各事業において会計年度任用職員や業務委託で対応した。</td> </tr> <tr> <td>自己評価</td> <td>2</td> <td colspan="5"> 【課題・問題点】 限られた職員で社会教育業務を効果的に行っていくために、学校教育係との連携は欠かせない。 また、職員のみならず地域の中から各分野の専門性を持つ人材を確保していく必要がある。 </td></tr> </table>						目標	社会教育事務の適正執行						成果	社会教育業務に要する一般職員当初予定 11 名の内、9 名の人物費が執行された。 一般職員が不足するところには、各事業において会計年度任用職員や業務委託で対応した。						自己評価	2	【課題・問題点】 限られた職員で社会教育業務を効果的に行っていくために、学校教育係との連携は欠かせない。 また、職員のみならず地域の中から各分野の専門性を持つ人材を確保していく必要がある。				
目標	社会教育事務の適正執行																										
成果	社会教育業務に要する一般職員当初予定 11 名の内、9 名の人物費が執行された。 一般職員が不足するところには、各事業において会計年度任用職員や業務委託で対応した。																										
自己評価	2	【課題・問題点】 限られた職員で社会教育業務を効果的に行っていくために、学校教育係との連携は欠かせない。 また、職員のみならず地域の中から各分野の専門性を持つ人材を確保していく必要がある。																									

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が 3 及び 4 の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 31	支出目		社会教育総務費	
個別事業・施策名	生涯学習の促進	予算執 行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	7,629,000	7,204,809	424,191	0	
事業の実施状況		<p>社会教育委員研修会を5月、11月、2月に開催。社会教育委員による自主的な計画により、仕七川小地域学校協働活動の田植えと稲刈りを体験した。また、先進地視察（土佐市）に出向いて社会教育委員活動の研究と交流を行った。</p> <p>学校と地域の連携事業：地域住民と連携した児童生徒の健全育成、心豊かなふるさとづくりに取り組む小学校と小学校及び中学校の活動に対して、予算の範囲内において補助を行った。（11校1,534,558円）</p> <p>主に人権教育に携わる社会教育指導員の業務委託（4月～9月）を執行した。</p>				
事業の成果	目標	政策提言できる社会教育委員会				
	成果	学校と地域の連携事業では、歴史文化、自然、産業等について、地域の方々と共に学習活動を進めることにより、学校を拠点とした地域コミュニティの促進へつながった。				
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>本町社会教育の充実のために、町社会教育行政の目標や施策の進捗状況を社会教育委員と共有し、ご意見をいただきながら施策の見直しや業務改善を図っていく。</p>			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 32	支出目		社会教育総務費			
個別事業・施策名	事業区分	20歳を祝う会	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
	町予算事業	国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		581,000	404,123	176,877	0	
事業の実施状況		<p>該当者（平成16年4月2日～平成17年4月1日生）66名のうち45名が参加 参加者は、該当者・町長・副町長・教育長・来賓（県議会議員・町議会議員・教育委員等）・中学校の恩師・関係スタッフ</p>						
事業の成果	目標	「成人の日」の趣旨に従い、大人の仲間入りをする節目を祝うセレモニーを開催し、権利と責任を自覚させる。						
	成果	<p>昨年に引き続き産業文化会館を会場とし、保護者も参列し実施できた。 久万高原町出身で人生の先輩であり、児童発達支援士でラジオパーソナリティーとしても活躍されている宮崎ユウさんに「きみは愛されるために生まれた」と題した講演を実施した。 また、式典終了後には、新たな取り組みとして茶話会を実施した。</p>						
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】 令和7年以降についても継続して実施する予定であるが、コロナ禍後に自粛していた祝宴については、引き続き運用を検討する。</p>					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

項目	事業区分	個別事業・施策名	通し番号 33	支出目		社会教育総務費		
				予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
		青少年補導センター			479,000	276,265	202,735	0
	町予算事業	国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他						
事業の実施状況			6月に「市町少年補導委員ブロック別研修」を久万高原町が企画・運営し、産業文化会館で開催した。中予地区の補導委員、少年育成支援員、町のPTA会員、教育関係者など合計204人の参加があった。講師に、ジャーナリスト 石川結貴先生を招き、「スマホ世代の子どもとどう向き合うか」というテーマで講演を行った。 7月に町補導委員会を開催し、各校の児童生徒の様子や夏休み前の非行防止に向けた取組等の情報交換を行った。 8月久万納涼祭りに夜間補導活動を実施した。					
事業の成果	目標		補導委員の指導力の向上、青少年健全育成の活動維持あるいは向上					
	成果		学校、警察、社会教育・福祉関係者等が集まり、青少年健全育成活動の取組について共通認識を持つことができた。 「市町少年補導委員ブロック別研修」では、青少年育成センターとPTAが協力して運営することで、200人を超える参加者に対して、子どもをネットいじめやSNS被害から防ぐための知識や方法を学んでいただくことができた。					
	自己評価	3	【課題・問題点】 PTA会員や教職員の人数も減っていることから、子ども達の登下校等の安全や指導、見守りに地域の方々の協力も必要である。 青少年育成センターの上位組織である県少年補導センター連絡協議会等の活動が、補導活動メインであり、町の実情は補導活動よりも不登校やいじめ問題に力を注ぐべきではないかとギャップを感じる。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

事業の実施状況	通し番号 34	支出目		社会教育総務費		
	個別事業・施策名	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	（町予算事業）・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		110,000	49,980	60,020	0
主に視聴覚機器の貸し出しを行った。						
事業の成果	目標	視聴覚機器の整備・充実、ＩＣＴを効果的に活用した学習の推進				
	成果	イベント等で利用機会の多い機器（プロジェクター、音響セット、ポータブル・ワイヤレスアンプセット、スポットライト）をそれぞれ複数台保有することにより、貸し出し希望に柔軟に応えられている。				
	自己評価	3	<p>【課題・問題点】</p> <p>視聴覚機器の貸し出し（視聴覚ライブラリーの管理・運営）が主な業務となっている。</p> <p>視聴覚機器が古くなってしまっており、視聴覚ライブラリーよりも役場の別の課や一部の学校に最新式が保有されている状況になっている。</p>			

43

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 35	支出目		社会教育総務費		
個別事業・施策名	社会教育支援事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		3,645,000	3,227,550	417,450	0	
事業の実施状況		社会教育団体等への指導・助言及び財政的援助を行い、地域を活性化させる社会教育推進団体としての貢献を促す。 連合婦人会補助金 500,000円 会員数名93名（久万60名、美川33名） 久万高原町壮年会連絡協議会補助金 185,000円 会員数64名 久万高原町青年団活動補助金 0円 会員数0名（令和6年度末で廃団となった。） 久万高原町人権教育協議会補助金 1,000,000円 会員数42名 久万高原町P T A連合会補助金 465,000円 会員数408名 久万高原町文化協会連絡協議会補助金 575,000円 会員数386名					
事業の成果	目標	新たな会員の獲得を目指し、後継者の育成に努める。					
	成果	町文連では、6年度も5年度と同様、舞踊・カラオケ発表会を合同で行った。7年度も継続して実施する計画となった。青年団について、団体の会員数減少により活動困難になったためR7.3月末に廃団となった。					
	自己評価	2	【課題・問題点】 各種団体の会員数が減少しており、新たな取り組みの検討が必要である。 青年団の廃団に伴い、若い人材の活躍の場がなくなったため、社会教育として若者の活躍の場をどのように提供すべきか再考が必要である。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 36	支出目		社会教育総務費	
個別事業・施策名	高齢者学習事業（しゃくなげ教室）	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		178,000	98,840	79,160	0
事業の実施状況		5月と11月に各地区の運営委員が集まり、以下の事業を計画して実施した。 6月 開講式 講話 ①南海トラフ地震に備えて ②フレイル予防について (19名) 7月 町外研修 (17名) 12月 閉講式及び解散親睦会 (21名)				
事業の成果	目標	高齢者の生きがいづくり、会員相互の交流				
	成果	南海トラフ地震に備えて、町危機管理室長より能登半島地震を教訓とした講話をしていただき、自分の身に置き換えて行動すべきことを考えることができた。 フレイル予防について町の保健師に講話をしていただき、高齢者の日々の体力づくり・健康づくりに役立った。 しゃくなげ教室は長期に渡り継続してきたが、会員の高齢化と固執化、また会員外との不公平感もあって、活動を見直して、令和6年度をもって廃止した。				
	自己評価	3	【課題・問題点】 高齢者の学習機会については、老人クラブ担当課と連携し、要望が合った際に応じるようにする。 今後の考え方としては、高齢者を限定した学習会というよりはすべての人が排除されず共に学ぶことができるインクルーシブな運営を目指した学習活動を企画・展開していきたい。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 37	支出目		社会教育総務費		
個別事業・施策名	学校支援地域本部推進事業	予算執 行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		1,102,000	877,520	224,480	0	
事業の実施状況		父二峰小学校支援地域本部 伝統行事・郷土学習（田植え・芋づる植え・収穫祭、しめ縄・門松づくり、どんど焼き、アマゴのつかみ取り等）、放課後遊びの学校、環境整備、登下校の安全指導など 面河小学校支援地域本部 高齢者支援ハウスとの交流（イルミネーションの取付け）・自然体験活動・親子読書講座、環境整備、登下校安全指導 美川小心のきずな連絡協議会 伝統行事や郷土学習（茶摘み・茶煎り・茶揉み、しめ縄・門松づくり、さつまいも苗植え・収穫、美川歴史学習など） 環境整備、登下校安全指導など 県補助金 557,000円					
事業の成果	目標	地域の教育力を最大限に生かし、特色と活力のある学校を構築する。					
	成果	学校を拠点に地域住民の交流・生きがいづくりに繋がり、地域と学校が互いに潤う活動になっている。 地域の特色を生かした事業を行うことにより子どもたちのふるさとへの理解が深まり、育った地域への誇りが持てるようになっている。 コミュニティ・スクールと地域学校協働活動活動の一体的な推進により、学校運営協議会設置と運用が始まった。（1校）					
	自己評価	1	【課題・問題点】 児童数の減少、地域住民の高齢化に伴い、長期的な視点で無理なく継続が可能な活動内容を検討していく必要がある。 持続可能な学校運営・地域づくりを目指すために、コミュニティ・スクールの導入を推進する。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 38	支出目		社会教育総務費		
個別事業・施策名	学校・家庭・地域連携推進事業	予算執 行状況	予算額（円） 4,369,000	決算額（円） 4,050,000	不用額（円） 319,000	繰越額（円） 0	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他						
事業の実施状況	放課後子ども教室「久万子どもの居場所づくり教室」 実施日 181日（平日・土曜日） 参加者延べ6,048人 クラフト等遊びの提供、学習支援、こっとんコットン（手芸遊び）、ネイチャーエクスカーション、花育キッズ、おかしやさん等 「面河小放課後子ども教室」 実施日 68日（平日） 参加者延べ319人 「仕七川小放課後子ども教室」 実施日 177日（平日） 参加者延べ641人 家庭教育支援「久万高原Happyサポート」 学習講座実施 16回、親子参加型行事実施 27回、一般相談 31件 県補助金 2,682,000円						
事業の成果	目標	児童達が放課後安全に過ごせる場所の確保・安心して子育てできる環境づくり					
	成果	仕七川小学校児童を対象とした放課後子ども教室が実施日を週3日から週5日に拡充した。 地域教育プロデューサーを講師にプログラムの魅力化を図り、元気に自然体験学習する子どもが増加した。 学校出張相談のほか、Happyおでかけ号（出張おもちゃ貸出）のニーズがあり、アウトリーチ型個別相談（公的機関や文化施設などによる地域への出張サービスのこと）が上手く機能した。 「子育て通信キラリ」「育和会だより」を発行し事業の周知を行っている。					
	自己評価	1	【課題・問題点】 本当に子育てに悩み困っている家庭を把握し、どのようにアプローチしていくか。 放課後の子どもの居場所づくりについて支援が行き届いてない地域について、保護者等のニーズがあるところに、学校と地域の連携・協働活動の推進や放課後子ども教室の開設について支援を行う。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育活動の推進

		通し番号 39			支出目	社会教育総務費		
個別事業・施策名		幸福学習会	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分		町予算事業 国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		10,000	0	10,000	0	
事業の実施状況		R5・R6年度休会						
事業の成果	目標	高齢者の社会参加と自立						
	成果							
	自己評価	4	<p>【課題・問題点】</p> <p>高齢者が対象であり、活動がますます難しくなってきている。</p> <p>令和6年度をもって、しゃくなげ教室と同様、幸福学習会を廃止する。</p> <p>(高齢者学習講座の講師謝金は、生涯学習の促進事業で執行可。)</p>					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興					
重点施策	公民館活動の推進					
	通し番号 40				支出目	公民館費
個別事業・施策名	公民館一般事務			予算執 行状況	予算額（円） 10,285,000	決算額（円） 9,501,205
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他			不用額（円） 783,795	繰越額（円） 0	
事業の実施状況	<p>館長・主事報酬を支出した。</p> <p>各種研修会（新任館長研修等）への参加費用等を支出した。</p> <p>公民館総合保障制度へ加入し、活動上の不測の事態に備えた（中央公民館及び27分館が加入）。</p>					
事業の成果	目標	公民館活動の活性化				
	成果	公民館活動の中核である館長・主事への支援等により、公民館活動活性化の一助となった。				
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>分館長等の研修会の充実を図る。</p>			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	公民館活動の推進

		通し番号 41	支出目		公民館費			
個別事業・施策名	分館管理・委託事業		予算執 行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
	事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		29,000,000	25,073,586	3,926,414	0	
事業の実施状況		各分館運営委員会に公民館指定管理料を支出した（13,303,200円） 分館施設の修繕工事を行った（修繕費2,052,820円） ※主な修繕工事内容 東川分館網戸張替 二箇体育館破風・軒天・雨樋修繕 西谷健康増進センター玄関・土間タイル補修 西谷分館テラス・土間修繕 净化槽法定検査手数料、净化槽及び消防設備に係る保守点検委託料を支出した。 公民館用地（5分館分）の賃借料を支出した。						
事業の成果	目標	公民館活動の活性化						
	成果	老朽化している施設を維持し、地域住民が少しでも快適に過ごせるための必要な対策を行った。						
	自己評価	2	【課題・問題点】 施設の老朽化により毎年、各公民館から修繕等の要望をいただくが、予算の都合上、全ての修繕は困難であるため、対応に苦慮している。 分館の在り方についても、早急に検討する必要がある。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会教育施設の管理・運営の充実

		通し番号 42	支出目		会館費	
個別事業・施策名	久万町民館の管理・運営	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		4,782,000	4,543,764	238,236	0
事業の実施状況		公民館事業・文化協会事業・行政各種会議・議会・地域諸団体の会合等で利用された。 ※利用者数 9,847人 利用回数 444回 利用収入 39,190円 屋上防水修繕工事（194,700円）				
事業の成果	目標	適正な施設管理と利用促進				
	成果	施設の保守点検・清掃を定期的に行い、貸館運営を実施した。				
	自己評価	2	【課題・問題点】 町民館（中央公民館）で行う町主催事業のメニューを増やすことで施設の稼働率をさらに上げていく必要がある。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興						
重点施策	社会教育施設の管理・運営の充実						
個別事業・施策名	通し番号 43 面河住民センターの管理・運営				予算執 行状況	支出目 予算額（円） 1,554,000	会館費 決算額（円） 55,223
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他					不用額（円） 55,223	繰越額（円） 0
事業の実施状況	<p>社会教育団体・行政行事・地域事業等地域住民に広く利用された。</p> <p>※ 公民館事業・行政各種会議・地域団体会議・文化協会等</p> <p>※ 使用件数72件・使用団体28団体・利用者数997人</p>						
事業の成果	目標	適正な施設管理と利用促進					
	成果	コロナ禍収束に伴い、自粛していた地域住民の交流の場の提供ができた。 定期的な清掃の実施により、適切な管理運営ができた。					
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>今後も引き続き施設の適切な管理に務める。</p> <p>経年劣化に伴う修繕箇所が増えているため、計画的な修繕が必要である。</p>				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興					
重点施策	社会教育施設の管理・運営の充実					
	通し番号 44					
個別事業・施策名	美川農村環境改善センターの管理・運営			予算執	予算額（円）	決算額（円）
事業区分	町予算事業 国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他			行状況	7,903,000	3,952,135
53		会館費 支出目 社会教育団体・行政行事・地域事業等会議・研修・交流の場に広く利用された。 ※文化協会事業・公民館事業・行政各種会議・各種団体会議・地区会議等 ※利用者数2,779人（月平均232人） 農事研修室カーテン修繕（59,400円）・農事研修室クロス張替（88,000円） エレベーター部品交換修繕（325,600円） 美川支所及び美川地区館雨漏り改修工事（美川地区館分）R7年度へ繰越				
事業の成果	目標	適正な施設管理と利用促進				
	成果	コロナにより団体等の利用回数が減少していたが、少しずつ利用者が増えてきている。状況に応じた管理運営に努め、住民の生きがいづくり、趣味、技能習得の場になった。 農事研修室のクロスやカーテンの修繕等、計画的な修繕を行い、定期的な清掃等を実施し、管理を行った。				
	自己評価	2	【課題・問題点】 経年劣化による修繕必要箇所が増加傾向にあり計画的な修繕が必要である。 避難所として使用されるため、避難者が安心して利用できるよう維持管理を行う。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興					
重点施策	社会教育施設の管理・運営の充実					
	通し番号 45				支出目	会館費
個別事業・施策名	柳谷こかげの管理・運営	予算執	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業→国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	行状況	5,506,000	4,916,083	589,917	0
事業の実施状況	<p>社会教育団体・行政行事・地域事業等、地域住民に広く利用された。 ※公民館事業・文化協会事業・行政各種会議・地区会議等 ※利用者数 1,475人（支所窓口 1,862人） ※開館日数 243日 非常灯照明LED化工事 928,950円 (1階EV前・入口・駐車場、2-3階西階段、2階柔道場・ロビー・廊下、3階ロビー・大会議室・控室通路・ステージ)</p>					
事業の成果	目標	適正な施設管理と利用促進				
	成果	<p>必要に応じた修繕を行い、適正な管理運営に努めることができた。 行政行事・地域事業等の拠点の場として有効活用されている。</p>				
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】 経年劣化に伴う修繕について、計画的な修繕が必要である。</p>			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興					
重点施策	社会教育施設の管理・運営の充実					
個別事業・施策名	通し番号 46 産業文化会館の管理・運営				支出目	会館費
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他				予算執行状況	予算額（円） 決算額（円） 不用額（円） 繰越額（円）
事業の実施状況	<p>文化協会事業・行政各種会議・地域諸団体の会合やイベント等で利用された。</p> <p>利用者数、利用回数ともに昨年度を上まわり、コロナ禍収束後は増加傾向が続いている。</p> <p>※利用者数 9,815人 利用回数 517回 利用収入 361,650円</p> <p>誘導灯取替工事（本年度支出額990,000円）</p>					
事業の成果	目標	適正な施設管理と利用促進				
	成果	<p>施設の保守点検・清掃も定期的に行い、貸館運営を実施した。</p> <p>誘導灯取替工事を3ヶ年で交換工事を行う。（2年目・R5～R7）</p>				
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>施設の経年劣化が見られるので、計画的な維持管理計画を策定し、施設の長寿命化を図っていく必要がある。</p>			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	図書館運営の充実

		通し番号 47	支出目		図書館費	
個別事業・施策名	図書館一般事務	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		7,235,000	7,137,473	97,527	0
事業の実施状況		職員1名の人物費である。 町民に広く利用してもらうよう、図書館資料の充実と図書情報の啓発に努めた。 年間開館日数 280日、 移動図書館(BMやまびこ) 66日、 図書館来館者数9,778人（平均 35人/日） 年間貸出人数 9,147人（平均 33人/日）、 利用資料件数 30,662点（平均110点/日） 蔵書総数 92,578点（内訳 一般書： 62,812点、児童書：27,585点、CD・DVD等：1,133点、雑誌： 1,048点）				
事業の成果	目標	業務全般の効率化と利用者のニーズに広く対応する				
	成果	業務全般にわたり、概ね適正な管理運営を行うことができた。 図書館相互の貸借により、町民が広く知識を得るための機会の提供に貢献できた。 未返却者に対して督促状や声かけで返却を促し、成果を上げた。				
	自己評価	2	【課題・問題点】 少子化・高齢化が進む中、図書館利用者減少が懸念される。 今後も住民ニーズを予想し最新の情報提供を進めたい。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	図書館運営の充実

57	通し番号	48	支出目		図書館費			
	個別事業・施策名	図書館の管理・運営	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他						
事業の実施状況		<p>図書館協議会を開催し、図書館運営の基本方針、事業計画などの協議を行った。</p> <p>会計年度任用職員のフルタイム2名とパートタイム職員2名、業務委託1名を雇用して、移動図書館業務、図書整理等を行うなど図書館業務の充実を図った。</p> <p>新刊資料の購入・案内、リクエスト・予約の受付等、図書館資料の充実、相互貸借等によりサービス向上に努めた。</p> <p>広報やホームページ等で催し物のお知らせをしたり、のぼり旗を設置するなど、広報活動に努めた。</p>						
事業の成果	目標	図書館利用者の拡大と図書資料の充実を図り、利用者に最新の情報を提供して生涯学習を推進する						
	成果	<p>図書館資料の整備・充実を図り利用者のニーズに応えた。</p> <p>定番展示に加えて賞の受賞作品や、司書おすすめの本などを積極的に展示した。</p> <p>町内幼稚園8園の園児が描いた絵を館内に掲示するなど、多くの方に来館してもらえるよう工夫した。</p> <p>読書記録帳を活用することで、自分が読んだ本のタイトルや貸出日を記録し一覧にして可視化することで、利用者の読書意欲を促進し利用者増に努めた。</p> <p>館内外の清掃、照明のLED化、空調設備の改修工事を行うなど、快適な空間づくりに努めた。</p>						
自己評価		2	<p>【課題・問題点】</p> <p>個人の趣味・嗜好が多様化する中で、まだまだ図書館に足を運んだことがない人にどう興味を持ってもらえるかが課題である。</p> <p>開館から27年以上経過しており、今後も修理や修繕が控えている</p>					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	図書館運営の充実

事業の実施状況	通し番号 49	支出目		図書館費		
	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
個別事業・施策名	子どもの読書活動の推進					
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他					
事業の実施状況	おはなし会ボランティアの協力を得て、図書館のおはなしコーナーで、紙芝居、絵本の読み聞かせ、素話（すばなし：絵本や紙芝居や道具などを一切使わないで、身振り手振りと声だけで「はなし」を伝える手法）、ペープサート（紙人形劇）パネル・エプロンシアター（エプロンを舞台に見立てて、ポケットから人形を出したり、貼りつけたりしながら演じるエプロンの人形劇）を行った。 赤ちゃんと保護者に絵本を贈呈し、その場で個別に読み聞かせを実施することで、絵本に触れるきっかけを作るとともに、赤ちゃんとのふれあいや乳幼児期の読み聞かせの大切さを伝えた。	160,000	128,606	31,394	0	
目標	行事等を通して本に親しむきっかけを作り、読書を習慣付ける					
成果	図書館資料の整備・充実を図り、生涯学習の支援（おはなし会、ブックスタートの実施）により、保護者と子どもの読書活動推進が図れた。【おはなし会：年11回 90名 ブックスタート：年4回 14組 実施】 ブックスタートにより、保護者が赤ちゃんや子どもたちと一緒に絵本等を読む「読み聞かせ」を行うようになり、図書館に来館する成果が出ている。 小学校・幼稚園の課外活動として、図書館訪問がされている。これをきっかけに来館する児童等がみられた。					
自己評価	2	【課題・問題点】 おはなし会ボランティアの高齢化と人数の減少が問題。新しい人材の募集が必要である。 おはなし会の参加者の減が課題である。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	図書館運営の充実

59	通し番号	50	支出目		図書館費			
	個別事業・施策名	読書グループ等の育成	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他						
事業の実施状況		わくわく科学広場を年1回実施した。 愛媛県立図書館の読書会協力図書を借り入れを行い、町内の読書グループの育成【ささゆり読書会（45年間継続）・毎月1回活動支援】を実施している。						
事業の成果	目標	学習会・教室・グループの活動支援を行い、参加者の拡大を図る						
	成果	読書グループは、代表者が変わったがメンバーの話し合いで継続することができた。 わくわく科学広場は、実験の工夫で参加者は楽しく学習ができた。 読書グループの活動やわくわく科学広場をきっかけとして図書館の本を利用してもらえている。						
	自己評価	2	【課題・問題点】 読書グループの高齢化で、グループの存続が難しくなりつつある。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	図書館運営の充実

事業の実施状況	通し番号 51		支出目		図書館費		
	個別事業・施策名	移動図書館の充実	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他						
事業の実施状況	遠隔地を含めた住民・学校・事業所・福祉施設を移動図書館車の巡回により、図書の貸出・返却・予約・リクエスト対応を行い利用者の拡大を図った。（移動図書館：計66日実施） 年間貸出人数（移動図書館車） 2,048人、年間利用資料件数（移動図書館車） 7,706点						
事業の成果	目標	巡回場所の拡大を図り、利用者を拡大する					
	成果	幼稚園・小学校・中学校を主に巡回することにより、読書推進を促している。【月6回45カ所巡回（8月は除く）】各幼稚園・小学校で先生が一緒に図書を利用してくれていることで、子どもたちもより多くの図書を利用してくれている。 福祉施設・高齢者施設に図書の貸出を行っていることで好評を得ている。 住民からの要望を取り入れた図書を適宜入れ替えるなどして、利用者から好評を得ている。					
	自己評価	2	【課題・問題点】 少子化や高齢化等により巡回ステーションが減少している。 移動図書館での貸出人数は昨年とほぼ変わらなかったが、一人当たりの貸出数が減少している。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	図書館運営の充実

		通し番号 52	支出目		図書館費			
事業区分	個別事業・施策名	親子読書講座の開設	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		101,000	90,160	10,840	0	
事業の実施状況		町内の幼稚園・小学校の参観日に合わせて訪問し、「くま紙芝居おはなし会」の講師による絵本の読み聞かせ・紙芝居・パネルシアター・ペーパーサート・素話・手遊び（歌と手の動作がひとつになった遊び）などを行った。						
		実施回数 11回、参加者数 426名						
事業の成果	目標	町内の園や学校と連携し、子どもが図書館に関心を持ち、読書を親しむきっかけ作りと子ども読書活動を支援する						
	成果	親子読書講座を開設して親子で本に親しむ機会を設けることで、家庭での読書や子どもの来館のきっかけになっており、家読（うちどく）の推進に繋がっている。 おはなしボランティアの創意工夫で、子どもたちからは好評で毎年楽しみにしている等感想が寄せられている。						
	自己評価	2	【課題・問題点】 幼稚園児・低学年と高学年の2つに分けて講座をおこなっていたが、児童数の減少でグループ分けが難しい状況にある。幼稚園児から6年生までを一緒にを行うのは難しいので苦慮している。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	文化財の保存と活用

		通し番号 53	支出目		文化財保護費		
個別事業・施策名	文化財保護	予算執 行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		2,417,000	1,106,568	1,310,432	0	
事業の実施状況		文化財保護審議会の開催 (R7.3.12) 指定文化財の巡視点検及び修理 町・県指定無形文化財保存事業（保存会への補助金支出（県指定1団体、町指定1団体）） 県・町指定有形文化財保存顕彰事業（国重要文化財「岩屋寺大師堂」防災設備保守点検事業に対する補助金支出ほか） 新採職員・転入教職員対象「文化財めぐり」の実施					
事業の成果	目標	文化財保護と活用					
	成果	文化財審議委員会を1回開催した。 町指定文化財である八幡神社の説明看板設置及び国指定文化財千住札対策看板設置を実施した。 八幡神社、岩屋寺の文化財事業について補助を行った。 新採職員・転入教職員対象「文化財めぐり」を実施した（8/28）。					
	自己評価	2	【課題・問題点】 地域に伝わる伝統芸能の保存、継承の活性化を図るまでの補助、情報発信が必要である。 川瀬歌舞伎の再評価として、県下でも貴重な古衣装（文化財）であることが明らかになりつつある。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	文化財の保存と活用

		通し番号 54	支出目		文化財保護費	
個別事業・施策名	上黒岩遺跡考古館の管理・運営	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		3,486,000	3,263,833	222,167	0
事業の実施状況	上黒岩遺跡考古館、国重要文化財「旧山中家住宅」の管理及び運営 開館：4月1日～11月30日、休館日：毎週月曜日、12月1日～3月31日 ※来館者数 1,093人、ワークショップ10月約400人、12月約100人 ※入館収入 116千円 上黒岩遺跡考古館の管理・運営					
事業の成果	目標	国指定史跡及び重要文化財建造物の保存及び活用				
	成果	学芸員及び業務委託者2名による環境整備や来館者対応により、適切な管理・運営が行えている。 10/6（愛媛新聞：絵灯籠）、12/25（愛媛新聞：マンガ）、2/10（日本教育新聞：マンガ）などに記事が掲載された。 愛媛大学次世代人材育成拠点と協力し、山中家丸ごと絵灯籠（10月、12月）を開催、美川中授業（1/15）などを行った。 『始原のヴィーナス』（11月）の刊行が特筆される。考古館の解説パネル、紙粘土等の追加を行い、展示内容を充実させた。 旧山中家住宅は県文化課の指導を受け、5/27-30の屋根修繕を行い、周辺環境を整備し、事業化を進めている。				
	自己評価	2	【課題・問題点】 旧山中家住宅の耐震および修繕の事業化。 老朽化した考古館の改築（空調設備については令和7年度対応）			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	文化財の保存と活用

		通し番号 55	支出目		文化財保護費		
個別事業・施策名	文化財整備活用事業	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		5,131,000	4,913,326	217,674	0	
事業の実施状況	旧土佐街道里程標石の傾斜補修 【埋蔵文化財調査事業】 ひわだ峠道について、国史跡への指定に向けた測量を実施するとともに発掘調査を行う。						
事業の成果	目標 保存活用計画の策定 成果 六里塚石補修（100,000円） 遍路道測量業務（R6及びR7の2か年実施・本年度測量業者委託料4,730,000円・国庫補助事業）						
自己評価	3	【課題・問題点】 将来に向けた町内地域保存活用計画の策定が必要であることから、検討を重ねていく。 国史跡の保存及び活用の方策を検討する（維持管理含め）。					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育の推進

		通し番号 56	支出目		保健体育総務費		
個別事業・施策名	保健体育総務一般事務	予算執 行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
事業区分	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		7,157,000	5,956,080	1,200,920	0	
事業の実施状況		<p>町民が組織するスポーツ団体や公民館が大会等を運営するために必要な費用を助成する。</p> <p>また個人競技においても県大会、全国大会へ参加する経費の補助を行う。</p> <p>※スポレク祭出場補助金 108,000円 ※ 地区別運動会補助金 216,886円</p> <p>※総合型地域スポーツクラブ補助金 400,000円 ※久万高原マラソン大会 200,000円【参加者559名】</p> <p>※スポーツ協会補助金 1,050,000円 ※町レクリエーション協会補助金 256,100円</p>					
事業の成果	目標	住民のスポーツ活動に対する意識向上及びスポーツ協会等の組織強化と町内全域への広域化					
	成果	<p>各地区での社会体育行事運営をスポーツ推進委員と共にを行い、指導助言を行った。</p> <p>昨年に引き続きコロナ禍以降の団体の活動再開について各団体に呼びかけを行った。</p>					
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】</p> <p>高齢化等により各種目協会の競技人口の減少がみられる。</p> <p>軽スポーツでは協会員の減少がみられるものの定期的な活動が行われている。</p> <p>施設管理においては、利用者が快適に利用ができる環境を維持する必要がある。</p>				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育施設の管理運営

		通し番号 57			支出目	体育施設費			
事業区分	個別事業・施策名	ラグビー場管理業務	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）		
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他		16,802,000	8,462,766	8,339,234	7,300,000		
事業の実施状況		菅生ラグビー場・笛ヶ滝多目的球技場の管理・運営 定期的にスポーツトラクターを利用して人工芝グラウンドの整備を行った。 笛ヶ滝・サブグラウンドは現状に芝種を蒔き足して天然芝の適正な管理を行った。 ※クラブハウス清掃管理150,000円 ※ボイラー水道管理120,000円 ※ラグビー場 サブグラウンド法面対策工事（6,284,960円）は令和7年度への繰越事業とした。 ※町長杯ラグビー大会2,000,000円							
事業の成果	目標	通常の合宿や練習を受け入れながら施設の適正な維持管理運営							
	成果	施設利用者との調整を行うことにより利用促進が図れた。 ラグビー関係未使用の時はスポーツ少年団サッカーや社会人サッカー大会会場・グラウンドゴルフ練習会場としても使用。 【利用状況】 ・ラグビー場・笛ヶ滝多目的球技場利用者 6,994人							
	自己評価	2	【課題・問題点】 ラグビー協会・高体連・成年ラグビー・サッカーとの会場利用調整。 地域の青少年がラグビーに関心を持ってもらえるようなきっかけづくりを行う。 菅生ラグビー場については施設修繕の要望があり、次年度以降の検討課題となる。						

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育施設の管理運営

		通し番号 58			支出目	体育施設費					
個別事業・施策名		海洋センターの管理・運営	予算執	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）				
事業区分		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	行状況	12,499,000	11,189,318	1,309,682	0				
事業の実施状況		久万 B & G 海洋センター施設の管理・運営 体育館及び管理事務所（スポーツ振興係常勤） 久万地区体育施設全ての鍵管理、利用料徴収等の受付事務をする。 県内の B & G 海洋クラブ員交流会を実施。 (スキー・スノーボード交流会 101名参加)									
事業の成果	目標	住民が積極的なスポーツ活動や文化活動ができるような施設の維持管理運営									
	成果	各種団体の利用を調整し、住民が積極的なスポーツ活動や文化活動に取り組むことができた。 【利用状況】 体育館 1,111人 プール 2,121人 トレーニングルーム 310人 施設を定期的に巡回し点検することにより適正な維持管理運営ができている。									
	自己評価	2	【課題・問題点】 各施設の長寿命化計画を見直し、施設の整備、改修を計画的に行うことが必要である。 体育館屋根の改修事業を令和7年度に実施する予定である。								

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育施設の管理運営

事業の実施状況	通し番号 59		支出目		体育施設費		
	個別事業・施策名	久万公園の管理・運営	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）
事業区分	（町予算事業）・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他			8,658,000	8,399,245	258,755	0
事業の実施状況	久万公園施設の管理・運営 (久万公園グラウンド、テニスコート、管理棟、トイレ2箇所、その他付随施設) 定期的にスポーツトラクターを利用してグラウンドの除草、整備をした。 ※トイレ清掃管理208,000円 ※草刈及び庭木剪定業務委託451,000円						
事業の成果	目標	住民が積極的なスポーツ活動や文化活動ができるような施設の維持管理運営					
	成果	定期利用者の施設利用計画を作成することにより利用促進が図れた。 施設点検を定期的に実施し、修繕箇所の早期発見に努めた。また、状況を見ながらグラウンド整備を適切に実施し、安全に利用していただくことができた。 【利用状況】 ・公園グラウンド2,521人 ・テニスコート902人 ・笛ヶ滝グラウンド687人					
	自己評価	2	【課題・問題点】 地域住民がスポーツに少しでも関心を持ち、体力増進につながるようになお一層の呼びかけを行うことが必要である。				

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育施設の管理運営

		通し番号 60			支出目	体育施設費		
事業区分	個別事業・施策名	屋内ゲートボール場の管理・運営	予算執	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）	
		町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他	行状況	1,066,000	926,255	139,745	0	
事業の実施状況		<p>屋内ゲートボール場「すぱーく久万」の管理・運営 施設を利用して練習を行っているゲートボール協会へ管理委託している。 (屋根付ゲートボール場2面、管理棟及びトイレ) ※管理委託料400,000円 第28回久万高原町長杯愛媛県ゲートボール大会(9/12~13) 12チーム 64名 夜間にモルックの練習会場として使用されている。</p>						
事業の成果	目標	住民が積極的なスポーツ活動や文化活動ができるような施設の維持管理運営						
	成果	<p>ゲートボールだけでなく軽スポーツ（モルック）など多目的に利用された。 施設点検を定期的に実施することにより早期に修繕箇所の発見ができた。 【利用状況】・利用者2,298人</p>						
	自己評価	2	<p>【課題・問題点】 ゲートボール競技者の高齢化が顕著であり、新規競技者の加入促進が課題である。</p>					

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育施設の管理運営

	個別事業・施策名	通し番号 61 面河地区にある体育施設 （町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他）	支出目		体育施設費	
			予算執行状況	予算額（円） 1,725,000	決算額（円） 1,684,610	不用額（円） 40,390
事業の実施状況		面河体育館の管理・運営 (体育館、トイレ内外2) 面河地区の屋内スポーツ行事や練習は、ほとんど当体育館を利用している。				
事業の成果	目標	住民が積極的なスポーツ活動や文化活動ができるような施設の維持管理運営				
	成果	施設の定期的な点検と支所職員との連携により適正な維持管理運営ができた。 【利用状況】 利用者 846人（小学校の利用人数は除く）				
	自己評価	2	【課題・問題点】 施設の老朽化に伴い修繕に係る費用が必要となっている。			

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育施設の管理運営

事業区分	個別事業・施策名	通し番号 62	支出目		体育施設費	
		美川地区にある体育施設	予算執行状況	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）
	町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他			560,000	436,114	123,886
		0				
事業の実施状況	美川山村広場の管理・運営 (グラウンド、体育館、屋外トイレ) 施設利用に合わせて除草作業をしている。 ※草刈り委託（年2回）150,000円					
事業の成果	目標	住民が積極的なスポーツ活動や文化活動ができるような施設の維持管理運営				
	成果	施設の定期的な点検と支所職員の巡視により適正な維持管理運営ができている。				
	自己評価	2	【課題・問題点】 施設が美川地区中心部より遠いこともあり、大会等は学校のグラウンド・体育館を使用しており山村広場の利用が皆無であり、今後の使用の在り方を検討する必要がある。 近年の利用実績等を鑑み、施設自体の有効活用について改めて検討を開始している。			

71

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

久万高原町教育委員会 事務事業点検・評価 施策・事業別評価表（自己評価）

項目	社会教育の振興
重点施策	社会体育施設の管理運営

		通し番号 63			支出目		体育施設費		
事業区分	個別事業・施策名	柳谷地区にある体育施設 （町予算事業・国支出委任事業・ゼロ予算事業・その他）	予算執	予算額（円）	決算額（円）	不用額（円）	繰越額（円）		
			行状況	1,959,000	1,833,801	125,199	0		
事業の実施状況		中津健康増進施設の管理・運営 （旭体育館、屋外トイレ、さんさんドーム） ※さんさんドーム指定管理料 1,170,000円 利用者人数 920人 施設状況の把握と適時点検を実施							
事業の成果	目標	住民が積極的なスポーツ活動や文化活動ができるような施設の維持管理運営							
	成果	施設の定期的な点検と支所職員との連携により適正な維持管理運営ができた。 ディスコン・グランドゴルフの継続的な練習が行われた。							
	自己評価	2	【課題・問題点】 高齢化が進む当該地域において、軽スポーツへの関心を持ってもらうように働きかける。						

※ 自己評価 1 順調 2 概ね順調 3 やや順調でない 4 順調でない

※ 評価が3及び4の場合は、課題問題点を明らかにすること。

參 考 資 料

令和6年度 久万高原町教育の大綱

わたしたちの久万高原町は、森林と清流がはぐくむ美しい自然、縄文以来の悠久の歴史、お遍路さんへのおもてなしの文化を受け継ぎながら、心優しい人々が集い、暮らす町です。

春は桜と山菜、夏は新緑と川の恵、秋は紅葉とキノコ、冬は白銀と薪ストーブのぬくもり。四季折々の山里の魅力が住む人、訪れる人を癒してくれます。

わたしたちは、郷土への愛情を胸に、力を合わせ、「誇れるふるさと久万高原町」を築きます。

I 教育の目標

- 1 一人ひとりを大切にし、互いに学びあう心を育てます。
- 2 世代と世代をつなぎ、人権が尊重されるふるさとをめざします。
- 3 文化を大切に継承し、健康で笑顔あふれるくらしをめざします。

II 基本方針

1 一人ひとりを大切にする学校教育

「上浮穴教育」を継承し、幼稚園・こども園から高等学校につながる16年教育の充実をめざします。

- (1) 豊かな感性と思いやりの心をはぐくみ、誇りと自信をもたせ、いじめや不登校を防止し、たくましい力を育てます。
- (2) 小規模校の良さを生かし、個別指導を工夫して確かな学力を育てます。
- (3) 食育・健康教育を充実し、体力づくりに努め、心身ともに健康な子どもに育てます。
- (4) 発達課題に即した特別支援教育を充実し、子どもたちの生きる力を育てます。

2 学校・家庭・地域が連携した教育

学校・家庭・地域が連携協力し、学校が地域コミュニティーの核となり、それぞれの教育力を高めます。

- (1) 基本的な生活習慣の確立をめざします。
- (2) 見守りやあいさつを通して、安全・安心な地域・学校づくりを推進します。
- (3) 変化する社会に生きる子どもたちに寄り添い、支援する家庭教育をめざし、PTA活動の充実に努めます。
- (4) 郷土の発展に貢献する人材育成のために、幼稚園・こども園から高等学校まで一層の魅力づくりを促進します。

3 世代と世代をつなぐ社会教育

町民一人ひとりが互いに学び合い、交流を深め、地域づくりの基盤となる社会教育を推進します。

- (1) 公民館活動を通して、地域の学習活動を推進し、世代と世代をつなぐ活動を支えます。
- (2) 子ども、青年、婦人、壮年、高齢者のニーズに合わせた学習活動を組み立て、地域の活力を醸成します。
- (3) 持続可能な社会づくりにむけて実践活動を組み立て、郷土の環境保全に取り組みます。

4 すべての町民の人権が尊重される町づくり

あらゆる差別や偏見を解消する人権教育を推進し、すべての町民の人権が尊重される町づくりをめざします。

- (1) すべての町民が取り組む、ぬくもりのある人権・同和教育を推進します。
- (2) 町内の園や学校、職場・事業所での人権問題学習を推進します。
- (3) さまざまな人権課題を正しく理解する学習会を支援し、人権・同和教育をすみずみまで届けます。

5 文化の継承・振興と文化財の保存・活用

町民の文化活動を支援し、互いの交流を図るとともに、貴重な文化財の保存と活用に努めます。

- (1) わが国の多様な文化的伝統や慣習を尊重するとともに、郷土の優れた伝統文化に親しみ、継承に努めます。
- (2) 地域の文化活動の活性化と交流を図り、愛好者の育成に努めます。
- (3) 町民がひろく上黒岩岩陰遺跡等の歴史文化遺産の価値を学び、保存と活用に努めます。

6 スポーツに親しみ健康な生活づくり

すべての町民がスポーツを通して、感動や生きがいを求め、健康で笑顔あふれる生活を築きます。

- (1) 町民に「一人一スポーツ」を奨励し、健康づくり・絆づくりに努めます。
- (2) 障がいの有無にかかわらず、幅広い世代の町民がスポーツに親しめる環境づくりに努めます。
- (3) 久万高原マラソン大会、ラグビー大会など、地域の活性化につながるスポーツイベントを充実させます。